



探究科の3年次生と科学部の生徒が、合同学術講演会で発表！

普通科
探究科

日本金属学会九州支部、日本鉄鋼協会九州支部および軽金属学会九州支部等が主催する2025年度合同学術講演会に、表に示した探究科3年次の化学班の生徒1人と家庭班の生徒3人、科学部の生徒1人が高校生ポスターセッションで発表しました。

2025年度合同学術講演会に参加した研究班と研究テーマ等

研究班等	研究テーマ	結果
探究3年次	化学 ダイラタンシー流体と擬塑性流体の混合流体の特性について	最優秀賞
	家庭 ベジタブルでサステナブル ～野菜に含まれる界面活性剤及び酵素を利用した食器用洗剤について～	優秀賞
科学部	アルギン酸塩膜による被膜殻の実用化に関する研究	優秀賞

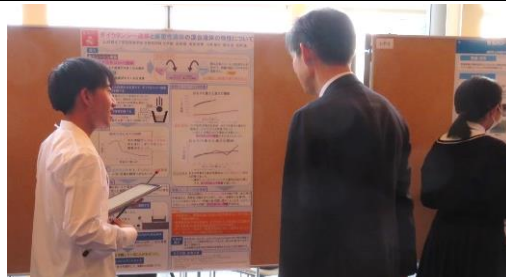
5月31日(土)に北九州国際会議場で開催された本講演会では、九州地区の大学院生や高専生による一般発表(口頭発表)とポスターセッションが実施されました。このたび、講演会の運営を担当された九州工業大学大学院工学研究院物質工学研究系の先生方の御厚意により、高校生にも発表の機会を与えていただきました。

当日は、大学生や高専生と同じ会場で、およそ90分間ポスターセッションが実施され、大学の先生方や企業の研究者のみなさんに課題研究の成果を披露することができました。審査の結果、化学班の発表が最優秀賞(1位)を、他の2つの発表も優秀賞(2位相当)をいただくことができました。

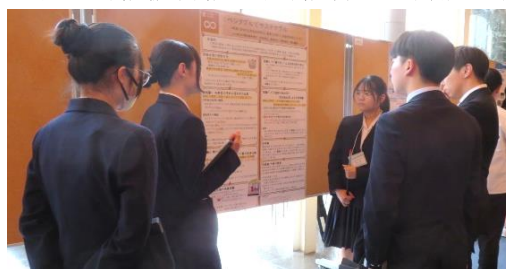


九州大学や九州工業大学の先生方と懇談しながら昼食！

ポスターセッションの前には、学会に所属されている先生方等と懇談しながら昼食をとるなど、普段の高校生活では体験することができない催しに参加することができました。このたびいただいたアドバイスを、研究内容の向上や進路選択に生かしてください。



ダイラタンシー流体と擬塑性流体による混合流体の特性について発表する化学班



野菜から抽出した界面活性剤等を活用して洗剤をつくった家庭班

1年次生を対象とした、文理選択等についての説明会を開催！

普通科
探究科

1年次生を対象とした文理選択・学科選択の説明会を、5月13日(火)に開催しました。本校では、2年次から普通科は、文系コースまたは理系コースに、文理探究科は、いわゆる文系コースである人文社会科学科または理系コースである自然科学科に分かれて学習します。それぞれのコース・学科では、実施される科目に特徴があり、これにより受験できる学部・学科が変わってきます。そこで、進路指導部の担当者やそれぞれの教科(数学、地理歴史、公民、理科)の担当者が、大学を受験する際に求められる科目を学部・学科を分類しながら紹介するとともに、科目の特徴や学習方法などを説明しました。参加した1年次生は、就きたい職業や将来活躍する自身の姿を思い浮かべながら、どのコースや学科を選択すべきか考えていました。



説明会で文理選択について聞く生徒

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科・文理探究科を対象としたプログラムです。

文理探究科の1年次生を対象とした、西高海峡ディスカバリー発表会を開催！

探究科

文理探究科の1年次生が、入学して間もない4月14日(月)に取り組んだ西高海峡ディスカバリーの成果を披露する発表会を、5月30日(金)の基礎探究Bの授業において開催しました。発表会では、唐戸地区の活動と下関三井化学株式会社を訪問した際に感じた疑問をもとに課題を設定し、それぞれの班で導き出した解決策を披露しました。1年5組と6組のそれぞれのホームルームで行った発表では、4分間で7枚のスライドを使って説明しました。

唐戸地区の活動については、旧秋田商会ビルで使われていた家具が、中国製やアメリカ製であることに気づいたA6班は、「当時の秋田商会は、とりにある郵便局が取り扱った電信により世界の情報いち早く得ることができたため、その情報を駆使して世界の国々と貿易できていたのではないかと考え発表しました。下関観光ガイドの会のみなさんの案内により、唐戸地区に多くの史跡が残っていることを知り、唐戸地区が歴史の転換点を感じることができる場所であることに気づいたA7班は、「下関市民自身が唐戸地区の価値を十分理解し、活用方法を考えることが観光客の増加につながるのではないかと考え発表しました。また、日清戦争の講和条約が、東京などの大都市ではなく、地方である下関で締結されたことに疑問をもったB5班は、「当時の下関市が軍の拠点ひとつであるとともに、せまい関門海峡に停泊している艦船が錯覚により大きく見えることから、軍勢力を背景にして交渉を有利に進めることをねらったものである」と発表しました。

訪問した下関三井化学株式会社については、下水汚泥焼却灰からリンをリサイクルする方法を学んだA1班が、「身の回りの廃棄物をリサイクルし、循環型社会を実現する方法」を考え発表しました。リンが生物にとって欠くことができないものであることに気づいたB1班は、「生命活動にリンが果たす役割やリンを効率よく摂取する方法」についてまとめて発表しました。また、将来日本が海外から調達するリン鉱石が不足する可能性が高いことに課題を感じたB2班は、「リン鉱石を代替する方法」について考え発表しました。

文理探究科では、これからも課題解決力に加え表現力を向上させるための取組を行います。それぞれの意見が伝わる発表を目指して、これからも工夫・改善してください。



発表に挑戦する文理探究科の1年次生

探究科の2年次生が、ジュニア・ SHIPPING・ジャーナリスト賞で「佳作」を受賞！

普通科

探究科

公益社団法人日本海事広報協会が主催する2024年度ジュニア・SHIPPING・ジャーナリスト賞において、探究科2年次(現3年次)の生徒1人が、中学生・高校生部門において佳作(6位相当)を受賞しました。本コンテストは、「日本の工業を支える船や港」「暮らしを支える造船業」「船の歴史や役割の変化」などに関わるテーマで新聞をつくり応募するもので、本校から15本の作品を出品しました。佳作を受賞した生徒がつくった新聞のテーマは「造船新聞」で、昨年度の地理探究の夏休みの課題で作製したものです。このたびは、中学生・高校生部門に、808本と多数の出品があり、その中で選ばれました。生徒のみなさんも、様々な事柄に興味をもち、コンテスト等に積極的に挑戦してください。



入賞した生徒

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科・文理探究科を対象としたプログラムです。